

青森県知事 宮下宗一郎様
むつ市長 山本知也様

むつ中間貯蔵施設への使用済み核燃料装填キャスクの搬入開始に反対します

私たちは、青森県むつ市に建設中の使用済み核燃料中間貯蔵施設の運用に深刻な懸念を抱いています。事業者（リサイクル燃料貯蔵株）および親会社（東京電力HD）は本年7～9月中に柏崎刈羽原発から使用済み核燃料装填キャスクを搬出する方針を提起しました。

しかし、貯蔵期間終了後にはどこへ移送するかは明らかにされていません。このままでは一度むつ市に持ち込まれた使用済み核燃料が「永久貯蔵施設」や「最終貯蔵施設」へと変わる可能性が高く、これは我々地元住民にとって大きな問題です。さらに、再処理事業が未だ確立しておらず、核燃料サイクル計画自体が風前のともしびである現在、むつ市はもとより下北半島全体が核廃棄物の最終貯蔵地と化す可能性があります。このことは地域住民の生活環境や健康に対する深刻な脅威です。

私たちは最低でも再処理事業が計画通りに運転され、搬出先が確実となるまでは使用済み核燃料装填キャスクの本施設への搬入はすべきでないと考えます。

また、政府が核燃料サイクル計画あるいは使用済み核燃料の全量再処理路線を見直した場合には直ちに本施設を返上することを強く求めるものです。

《賛同人署名欄》

氏名	住所（自治体名まで必須）	連絡先（任意）

核の中間貯蔵施設はいらない！下北の会

代表 野坂庸子

むつ市本町1-1 自然食品「檜葉」内

TEL 0175(22)7734